

2026 年 8 月 24 日

各位

三重中央開発株式会社
資源循環システムズ株式会社
アトリエ音土

「ONDO - FROM WASTE TO WONDER - 」
廃棄から美へ、再生素材が語る新しい物語
三重テラス(東京・日本橋)にてサステナブルアート展示会を開催
2026 年 9 月 3 日(木)～5 日(土)

三重中央開発株式会社、資源循環システムズ株式会社、アトリエ音土が連携し、リサイクル材の新価値創出に挑む「ONDO - FROM WASTE TO WONDER -」プロジェクトが、2026 年 9 月 3 日(木)～9 月 5 日(土)にて、三重テラス(東京・日本橋)にて、サステナブルアートの展示会を開催いたします。



(参考)2026 年 4 月 伊賀 赤井家(旧武家屋敷)での展示会風景

1. 背景とコンセプト

私たちは、これまで陽の目を見てこなかったサステナブル素材に光を当て、新たな価値を創出する試みに挑戦してまいります。本取り組みでは、三重中央開発が製造する容器包装プラスチック由来の再生材にアートの力が加わることで、リサイクルを促進させる起爆剤になるのではないかとこの着想からスタートいたしました。

通常は低品位の再生材料として流通するところ、アートの力で再生材が空間を彩り、そして美術品そのものになり得る可能性を模索しました。本来であればマイナス要因となる製品の特長を素材の"個性"として美へと昇華させる取り組みを行っています。見過ごされがちな再生材に「物語」と「表情」を与えることで、素材の新しい魅力を引き出しました。

この度、アート×文化×リサイクルによって地域の懸け橋となるべく、伊賀の文化施設と連携しお披露目の展示を行います。再生材の価値を見つめ直すことで、美の価値観を問い直す「再生の美学」をぜひご体験ください。

2. 展示会開催概要

- 展示会名 ONDO - FROM WASTE TO WONDER in Tokyo - 廃棄から美へ
- 会期 2026 年 9 月 3 日(木)～9 月 5 日(土)
- 開館時間 10:00～17:00
- 会場 三重テラス コミュニティスペース
東京都中央区日本橋室町 2-4-1 YUITO ANNEX 2F
(最寄り駅 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅)
- 入場料 無料
- 展示内容 再生プラスチックを活用したアート作品／制作プロセスの展示

主催：三重中央開発株式会社

共催：公益財団法人伊賀文化都市協会

後援：伊賀市／伊賀市教育委員会

協力：資源循環システムズ iCEP PLASTICS

(展示会告知用資料)

https://www.dinsgr.co.jp/news/pdf/20260824_1.pdf

3. 会期中のイベント

サステナブルアートが彩るお茶席

日本の伝統をサステナブルアートが彩るお茶席（抹茶席）をご体験いただけます

日時：抹茶席(立礼席)無料随時受付 最終受付 16:00

4. チームメンバー

三重県伊賀市の三重中央開発の近隣で制作活動を行うアーティストの視点をきっかけに、三重の廃棄物処理・再資源化事業所の所長との対話から始まった取り組みとなっています。

▽陶芸家 谷本 洋



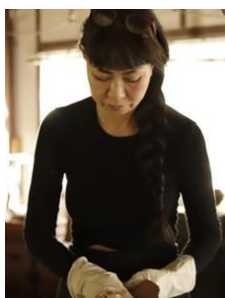
1958 三重県伊賀市に谷本光生を父として生まれる。幼少のころから伊賀焼に接する。伊賀・京都にて陶芸を学ぶ

1984 個展・グループ展にて作品発表を始める。

1984 渡仏。パリにてデッサン・油絵を学ぶ。造形作家 J・G アルチガスの助手となる。パリ郊外にアトリエを設け、作陶を始める。

1988～ 独立。伊賀に谷本洋陶房を開く。以後、バルセロナでの作陶・個展開催、ニューヨークパリ等で個展・ワークショップ開催と海外でも活躍。

▽陶芸家 谷本 あけみ



英国留学後、パリおよびバルセロナに在住。写真家・関口照生氏のスタジオアシスタントを経てファッションを学ぶ。その後、スペイン・アルチガス財団の陶工房を訪れたことを契機に作陶の道へ。現在は伊賀にアトリエを構え、「Bubble of Thoughts」シリーズをはじめとする独自の表現で製作を続ける。近年は写真表現やアートイベントの企画・プロデュースも手掛けている。

▽三重中央開発株式会社常務取締役 前山 泰彦



2000 年大栄環境株式会社入社。2021 年三重中央開発株式会社取締役三重事業所長に就任。2024 年には一般社団法人三重県産業廃棄物協会理事、三重県樹脂開発協同組合副理事長を務める。2025 年 4 月より大栄環境株式会社執行役員に就任しグループ経営と地域産業の発展に尽力している。

5. ONDO - FROM WASTE TO WONDER - ロゴに込めた思い



from waste to wonder

O: Origin	廃棄物ではなく「素材」
N: Nature	循環がもたらす、地球の健やかな未来
D: Design + Art	再生素材とアートの融合
O: Ongoing	新たな文化の継承

ロゴデザインには、再生材の持つ素材感を表現しながら、再生のプロセスにより徐々に価値が大きくなる様子を表現しています。私たちは、地域とともに再生材を活用したサステナブルな文化の創造と継承を目指してまいります。

[お問い合わせ先]

三重中央開発株式会社

担当 : 三重中央開発(株) 開発課 西田

E-mail : ondo@dinsgr.co.jp

Instagram : https://www.instagram.com/ondo_from_waste_to_wonder